

増える外国人留学生

2018年1月～3月の繁忙期におきましては、900件を超える入居申し込みを頂きました。今年は入居申し込みに占める外国籍の割合が37%に達したのが特徴です。(昨年29%)

日本学生支援機構によると、国内に26万7千人の海外留学生(2017年5月現在)がおり、日本に働きに来る技能実習生と共に増加傾向にあります。入居者にとってもオーナー様にとっても、言語や生活習慣の違いがもたらす不安要素を取り除くのが課題です。

外国籍の入居審査では、必ず母国の両親に身元確認や引っ越し理由などを調査しています。また外国籍を取り扱う仲介会社との協力により、入居中の生活ルールなどを母国語でしっかりと説明していただくよう徹底しています。今後も留学生の増加を想定し、オーナー様が安心して受け入れられるような環境を作って参ります。

旅介(たびすけ)～介護施設に旅の彩りを～

グループ会社の「東京トラベルパートナーズ」(TTP)は、4月から介護施設の入居者が旅行を楽しむ新サービスを始めます。介護が必要な高齢者も、専門資格を持つ添乗員が同行することで温泉やコンサートといった外出を楽しむことができます。また、旅行に行けない方のために、VR(バーチャルリアリティ)を使って旅行の疑似体験をしたり、スポーツ選手やダンサーによるイベントなどのサービスをしています。非日常的な体験によって入居者の健康や生活の質を高める事が目的です。

TTPは3月に都内で開かれた介護商品の展示会にて旅行サービス「旅介(たびすけ)」を発表。「今まで旅行を楽しむことができなかった高齢者の旅を手助けしたい」という願いを込めた新サービスは展示会で多くの反響を得ました。

旅介を充実させるため、介護資格を持つ添乗員のほか、少人数の旅行がしやすい福祉車両も確保しました。ご利用希望の方は「旅介」のウェブサイトのほか、オーナー担当までお気軽にご連絡ください。



東京トラベルパートナーズ (左から 川口・栗原・山口)

今月の気になる“●●”

気になる賃貸仲介最前線

今回は成約率を上げるための切り札になりそうな技術を紹介します。

その名は「VR」。Googleをのぞくと人物や風景が立体的に現れる様子はテレビなどでご覧になった方も多いでしょう。実はこのVR、不動産仲介の現場でも急速に普及しています。

部屋探しをする人にとって、物件をいくつも回るのは非常に大変です。「実際に物件へ行かなくてもイメージを事前につかめる」「退が決まっている部屋の内覧もできる」などメリットは大きいでしょう。これからはVRで気になる物件だけを内見することが、部屋探しの主流になる予感がします。

誠に勝手ながら下記の通り休業させていただきます。

ゴールデンウィーク：5月3日(木)～5月6日(日)